



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 青山商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員社長兼営業本部長 (氏名) 青山 理

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員総合企画部長 (氏名) 山根 康一

TEL 084-920-0050

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

2019年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	101,882	3.1	1,557		1,158		6,469	
2019年3月期第2四半期	105,192	3.0	1,061	70.0	1,586	59.6	123	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 6,814百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 692百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	129.43	
2019年3月期第2四半期	2.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	377,988	214,505	55.9
2019年3月期	390,340	224,170	56.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 211,204百万円 2019年3月期 220,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		50.00		55.00	105.00
2020年3月期		50.00			
2020年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年3月期配当金の内訳 普通配当 100円00銭(第2四半期末50円00銭、期末50円00銭) 創業55周年記念配当 5円00銭(期末5円00銭)
2020年3月期配当金(予想)の内訳 普通配当 100円00銭(第2四半期末50円00銭、期末50円00銭)

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,500	5.9	9,000	38.5	9,700	37.9	2,000		39.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	50,394,016 株	2019年3月期	50,394,016 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	413,911 株	2019年3月期	414,884 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	49,979,540 株	2019年3月期2Q	50,145,504 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)期末自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(2020年3月期2Q 182,700株、2019年3月期 183,700株)が含まれております。また、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております(2020年3月期2Q 183,283株、2019年3月期2Q 184,450株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2019年11月13日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(参考) 個別業績予想

2020年3月期の個別業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	171,500	△7.1	7,000	△44.7	6,600	△47.5	△3,600	—	△71.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
3. (参考) 四半期財務諸表(個別)	11
(1) (参考) 四半期貸借対照表(個別)	11
(2) (参考) 四半期損益計算書(個別)	13
4. 補足情報	14
(1) 青山商事(株) ビジネスウェア事業の商品別売上高	14
(2) 青山商事(株) ビジネスウェア事業の店舗数	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

《セグメント別業績》

(単位：百万円)

	売 上 高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))			
	当第2四半期	前第2四半期	増減額	前年同期比(%)	当第2四半期	前第2四半期	増減額	前年同期比(%)
ビジネスウェア事業	68,892	72,491	△3,598	95.0	△1,774	659	△2,433	—
カジュアル事業	6,290	7,023	△732	89.6	△1,066	△587	△479	—
カード事業	2,687	2,575	112	104.4	1,255	1,165	89	107.7
印刷・メディア事業	5,785	5,355	430	108.0	△302	△212	△89	—
雑貨販売事業	7,772	8,015	△242	97.0	347	357	△9	97.3
総合リペアサービス事業	6,157	6,181	△23	99.6	△214	△422	207	—
その他	5,735	5,098	637	112.5	170	82	88	207.3
調整額	△1,439	△1,546	107	—	26	20	6	130.4
合計	101,882	105,192	△3,310	96.9	△1,557	1,061	△2,618	—

(注) セグメント別売上高、セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等が懸念される状況にあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、中核事業であります、ビジネスウェア事業の収益力、競争力の強化を目指した諸施策を実施するとともに、グループ経営の基盤整備と収益力強化を図ってまいりましたが、主に、ビジネスウェア事業の売上高及び売上総利益の減少や、カジュアル事業において、アメリカンイーグル事業の事業整理に伴う事業整理損失69億98百万円を特別損失に計上したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の当社グループにおける業績は以下のとおりとなりました。

売上高 1,018億82百万円(前年同期比96.9%)
 営業損失 15億57百万円(前年同期は営業利益10億61百万円)
 経常損失 11億58百万円(前年同期は経常利益15億86百万円)
 親会社株主に帰属する四半期純損失 64億69百万円
 (前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億23百万円)

セグメント別の営業の状況は、以下のとおりであります。

なお、以下のセグメント別売上高、セグメント利益又は損失は、セグメント間の内部取引相殺前の数値であります。

《ビジネスウェア事業》

[青山商事(株) ビジネスウェア事業、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)、青山洋服商業(上海)有限公司]

当事業の売上高は688億92百万円(前年同期比95.0%)、セグメント損失(営業損失)は17億74百万円(前年同期はセグメント利益(営業利益)6億59百万円)となりました。

当事業の中核部門であります青山商事(株)のビジネスウェア事業につきましては、オフィスウェアのさらなるカジュアル化などによる市場環境の変化などにより、客数の減少が続き、ビジネスウェア事業の既存店売上高は前年同期比94.7%となりました。

＜ビジネスウェア事業の既存店売上・客数・客単価の前期比推移＞ (単位：%)

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期
売上	98.1	96.0	94.7
客数	98.8	94.7	98.4
客単価	99.3	101.4	96.2

なお、当第2四半期まで（4月～9月）のメンズスーツの販売着数は前年同期比92.0%の652千着、平均販売単価は前年同期比100.0%の27,892円となりました。

＜メンズスーツの販売着数並びに平均販売単価推移＞

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期
販売着数（千着）	756	710	652
平均販売単価（円）	27,946	27,883	27,892

当第2四半期まで（4月～9月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜ビジネスウェア事業における業態別の出退店及び期末店舗数（2019年9月末現在）＞ (単位：店)

業態名	青山商事(株)ビジネスウェア事業						青山洋服商業(上海)有限公司
	洋服の青山	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	ユニバーサルランゲージメジャーズ	ホワイトザ・スーツカンパニー	合計	洋服の青山
出店（4月～9月）	1	0	0	2	0	3	1
閉店（4月～9月）	1	1	0	0	0	2	3
期末店舗数（9月末）	809	59	9	5	10	892	29

(注) 1. 「ザ・スーツカンパニー」には「TSC SPA OUTLET」を、「ユニバーサルランゲージ」には「UL OUTLET」を含めております。

2. 青山洋服商業（上海）有限公司の出店・閉店は2019年1月～6月、期末店舗数は2019年6月末の店舗数であります。

《カジュアル事業》〔青山商事(株)カジュアル事業、(株)イーグルリテイリング〕

当事業につきましては、客数減少などにより、売上高は62億90百万円（前年同期比89.6%）、セグメント損失（営業損失）は10億66百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）5億87百万円）となりました。

また、アメリカンイーグル事業の事業整理に伴う事業整理損失69億98百万円を特別損失に計上しております。

当第2四半期まで（4月～9月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜カジュアル事業における業態別の出退店及び期末店舗数（2019年9月末現在）＞ (単位：店)

業態名	青山商事(株)カジュアル事業	(株)イーグルリテイリング
	リーバイズストア	アメリカンイーグルアウトフィッターズ
出店（4月～9月）	2	0
閉店（4月～9月）	0	0
期末店舗数（9月末）	12	33

(注) 「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」にはアウトレット店を含めております。

《カード事業》〔(株)青山キャピタル〕

当事業につきましては、ショッピング収入の増加などから、売上高は26億87百万円（前年同期比104.4%）、セグメント利益（営業利益）は12億55百万円（前年同期比107.7%）となりました。

なお、資金につきましては、親会社であります青山商事(株)等からの借入と社債の発行により調達しております。

＜カード事業におけるAOYAMAカード有効会員数並びに営業貸付金残高の推移＞

	2018年8月期	2019年2月期	2019年8月期
有効会員数（万人）	421	425	430
営業貸付金残高（百万円）	55,273	58,147	57,308

《印刷・メディア事業》〔(株)アスコン〕

当事業につきましては、電子販促・販促物の受注増加などから、売上高は57億85百万円（前年同期比108.0%）となる一方、人件費等の経費増加などから、セグメント損失（営業損失）は3億2百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）2億12百万円）となりました。

《雑貨販売事業》〔(株)青五〕

当事業につきましては、店舗の閉店などから、売上高は77億72百万円（前年同期比97.0%）、また、人件費等の経費増加などから、セグメント利益（営業利益）は3億47百万円（前年同期比97.3%）となりました。なお、2019年8月末の店舗数は112店舗（2018年8月末 118店舗）であります。

《総合リペアサービス事業》〔ミニット・アジア・パシフィック(株)〕

当事業につきましては、売上高は61億57百万円（前年同期比99.6%）、セグメント損失（営業損失）は2億14百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）4億22百万円）となりました。

当第2四半期まで（4月～9月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜総合リペアサービス事業における出退店及び期末店舗数（2019年9月末現在）＞ （単位：店）

地域	ミスターミニット			
	日本	オセアニア	その他	合計
出店（4月～9月）	9	4	1	14
閉店（4月～9月）	8	1	3	12
期末店舗数（9月末）	318	290	41	649

（注）「オセアニア」はオーストラリア、ニュージーランド、「その他」はシンガポール、マレーシア、中国であります。

《その他》〔青山商事(株)リユース事業、(株)glob、(株)WTW〕

その他の事業につきましては、「焼肉きんぐ」等の出店などから、売上高は57億35百万円（前年同期比112.5%）、セグメント利益（営業利益）は1億70百万円（前年同期比207.3%）となりました。

当第2四半期まで（4月～9月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜その他の事業における業態別の出退店及び期末店舗数（2019年9月末現在）＞ （単位：店）

業態名	青山商事(株)リユース事業		(株)glob		(株)WTW	
	セカンド ストリート	ジャンブル ストア	焼肉きんぐ	ゆず庵	ダブルティー	ダブルティー サーフクラブ
出店（4月～9月）	2	0	5	0	0	0
閉店（4月～9月）	0	0	0	0	0	1
期末店舗数（9月末）	15	2	35	11	5	0

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

1. 特別損失の計上について

日本におけるアメリカンイーグル事業について、当社連結子会社である(株)イーグルリテイリングは、2019年12月末日をもって事業を終了する予定であります。現在、米国American Eagle Outfitters, Inc.との間で、2019年6月7日付「連結子会社の事業譲渡検討等に係る基本合意書締結に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、事業譲渡にむけての交渉を進めております。

交渉の過程で、一部譲渡予定であった店舗の譲渡が見込めなくなったこと(EC事業については譲渡予定)などにより、2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績に、事業整理損失69億98百万円(内56億22百万円は第1四半期会計期間に計上済)を計上いたしました。

あわせて、2020年3月期通期の個別業績に、上記事業整理損失に関連投資不動産の減損損失等を加えた78億90百万円を特別損失として計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

なお、事業譲渡にむけての交渉は継続中であり、内容が確定し開示が必要な場合には、改めてお知らせいたします。

2. 業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	245,300	11,300	12,600	3,000	60円2銭
今回修正予想(B)	235,500	9,000	9,700	△2,000	△39円72銭
増減額(B-A)	△9,800	△2,300	△2,900	△5,000	—
増減率(%)	△4.0	△20.4	△23.0	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	250,300	14,629	15,611	5,723	114円32銭

2020年3月期通期個別業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	178,200	9,200	10,900	6,100	122円5銭
今回修正予想(B)	171,500	7,000	6,600	△3,600	△71円50銭
増減額(B-A)	△6,700	△2,200	△4,300	△9,700	—
増減率(%)	△3.8	△23.9	△39.4	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	184,573	12,653	12,578	3,831	76円53銭

3. 修正の理由

<連結業績予想>

ビジネスウェア事業及びカジュアル事業の業績が前回予想を大幅に下回る見込みであること、あわせて、上記特別損失を計上したことなどから、売上高、利益ともに前回予想を大幅に下回る見込みであります。

<個別業績予想>

青山商事(株)ビジネスウェア事業において、オフィスウェアのさらなるカジュアル化などによる市場環境の変化に対応するため、中長期的な業績回復を目指した、ビジネスウェア事業再構築のプロジェクトを進めており、その第一歩として、10月より新価格への価格改定を実施しております。

しかしながら、足元の売上状況や上記市場環境の変化等を勘案し、下期については、既存店売上高前期比を92%と予想いたしました。

あわせて、上記特別損失を計上する見込みであることなどから、売上高、利益ともに前回予想を大幅に下回る見込みであります。

なお、ビジネスウェア事業の既存店売上高前期比の前提は下記のとおりであります。

上期実績(前回発表予想)	下期予想(前回発表予想)	通期予想(前回発表予想)
94.7%(96.0%)	92.0%(98.0%)	93.0%(97.2%)

業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,587	49,003
受取手形及び売掛金	20,317	11,318
有価証券	15,999	14,200
商品及び製品	52,342	57,926
仕掛品	1,250	1,226
原材料及び貯蔵品	1,513	1,588
営業貸付金	58,147	57,308
その他	3,282	5,585
貸倒引当金	△280	△287
流動資産合計	214,161	197,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	55,755	54,861
土地	38,565	38,685
その他（純額）	9,834	12,783
有形固定資産合計	104,156	106,330
無形固定資産		
のれん	9,266	8,542
その他	7,195	6,739
無形固定資産合計	16,462	15,281
投資その他の資産		
敷金及び保証金	25,425	25,187
その他	30,127	33,299
貸倒引当金	△48	△25
投資その他の資産合計	55,504	58,461
固定資産合計	176,122	180,074
繰延資産合計	57	43
資産合計	390,340	377,988
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,369	16,108
電子記録債務	17,587	11,688
短期借入金	3,100	3,700
未払法人税等	2,677	1,634
賞与引当金	1,776	1,656
その他	14,078	15,668
流動負債合計	60,589	50,456
固定負債		
社債	24,000	24,000
長期借入金	62,000	67,000
退職給付に係る負債	9,901	10,229
ポイント引当金	3,072	2,881
その他	6,607	8,914
固定負債合計	105,581	113,025
負債合計	166,170	163,482

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,533	62,564
利益剰余金	114,074	104,846
自己株式	△1,422	△1,419
株主資本合計	237,689	228,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,901	2,079
繰延ヘッジ損益	4	△3
土地再評価差額金	△16,015	△16,023
為替換算調整勘定	△754	△1,395
退職給付に係る調整累計額	△1,989	△1,948
その他の包括利益累計額合計	△16,853	△17,291
非支配株主持分	3,333	3,301
純資産合計	224,170	214,505
負債純資産合計	390,340	377,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	105,192	101,882
売上原価	48,257	47,709
売上総利益	56,935	54,173
販売費及び一般管理費	55,873	55,730
営業利益又は営業損失(△)	1,061	△1,557
営業外収益		
受取利息	49	41
受取配当金	137	172
不動産賃貸料	676	673
デリバティブ評価益	—	1
為替差益	26	—
その他	249	175
営業外収益合計	1,139	1,064
営業外費用		
支払利息	65	128
不動産賃貸原価	494	493
為替差損	—	9
その他	54	33
営業外費用合計	614	665
経常利益又は経常損失(△)	1,586	△1,158
特別利益		
固定資産売却益	56	0
特別利益合計	56	0
特別損失		
固定資産除売却損	244	151
減損損失	393	374
災害による損失	308	9
事業整理損失	—	6,998
特別損失合計	946	7,533
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	697	△8,691
法人税等	726	△2,308
四半期純損失(△)	△29	△6,383
非支配株主に帰属する四半期純利益	93	85
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△123	△6,469

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
四半期純損失(△)	△29	△6,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△721	178
繰延ヘッジ損益	43	△8
為替換算調整勘定	△130	△640
退職給付に係る調整額	145	39
その他の包括利益合計	△663	△430
四半期包括利益	△692	△6,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△777	△6,899
非支配株主に係る四半期包括利益	84	85

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が3,544百万円増加し、流動負債の「その他」が1,189百万円及び固定負債の「その他」が2,503百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位: 百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,527	31,452
有価証券	15,999	14,200
商品及び製品	47,188	51,976
原材料及び貯蔵品	579	578
関係会社短期貸付金	19,950	15,500
その他	16,099	13,039
貸倒引当金	△7	△2
流動資産合計	146,337	126,744
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	41,826	41,648
土地	36,203	36,323
その他(純額)	13,239	12,902
有形固定資産合計	91,269	90,874
無形固定資産		
投資その他の資産	2,415	2,309
投資その他の資産		
投資有価証券	8,799	9,045
敷金及び保証金	23,852	23,584
その他	54,071	55,004
貸倒引当金	△6,031	△6,009
投資その他の資産合計	80,692	81,624
固定資産合計	174,377	174,808
資産合計	320,715	301,552
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,035	9,059
電子記録債務	17,278	11,315
未払法人税等	1,880	694
賞与引当金	1,151	1,110
その他	12,099	8,969
流動負債合計	46,444	31,150
固定負債		
長期借入金	50,000	50,000
退職給付引当金	6,170	6,559
ポイント引当金	3,062	2,872
その他	4,280	4,447
固定負債合計	63,513	63,878
負債合計	109,958	95,029

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (2019年9月30日)
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,526	62,526
利益剰余金	101,060	96,646
自己株式	△1,422	△1,419
株主資本合計	224,668	220,257
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,902	2,081
土地再評価差額金	△15,814	△15,814
評価・換算差額等合計	△13,912	△13,733
純資産合計	210,756	206,523
負債純資産合計	320,715	301,552

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	72,619	68,706
売上原価	29,436	28,350
売上総利益	43,183	40,355
販売費及び一般管理費	42,842	42,352
営業利益又は営業損失(△)	340	△1,996
営業外収益		
受取利息	81	72
受取配当金	537	517
不動産賃貸料	1,848	1,834
デリバティブ評価益	—	1
為替差益	9	—
その他	155	56
営業外収益合計	2,632	2,482
営業外費用		
支払利息	58	47
不動産賃貸原価	1,658	1,647
為替差損	—	5
その他	14	8
営業外費用合計	1,732	1,709
経常利益又は経常損失(△)	1,241	△1,223
特別利益		
固定資産売却益	54	0
特別利益合計	54	0
特別損失		
固定資産除売却損	206	116
減損損失	372	364
災害による損失	308	9
特別損失合計	887	490
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	407	△1,713
法人税等	287	△59
四半期純利益又は四半期純損失(△)	120	△1,654

4. 補足情報

(1) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の商品別売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期 累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日		当第2四半期 累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
重衣料	スーツ・スリーピース	19,831	27.7	18,186	26.9	△1,645	91.7
	ジャケット	2,575	3.6	2,405	3.5	△170	93.4
	スラックス	4,534	6.4	4,166	6.2	△368	91.9
	コート	243	0.3	194	0.3	△48	80.0
	フォーマル	10,467	14.7	10,170	15.0	△296	97.2
	ベスト	201	0.3	317	0.5	115	157.3
小計		37,854	53.0	35,440	52.4	△2,414	93.6
軽衣料	シャツ・洋品類	12,956	18.1	12,013	17.7	△942	92.7
	カジュアル類	1,713	2.4	1,615	2.4	△97	94.3
	その他商品	5,487	7.7	5,262	7.8	△224	95.9
小計		20,156	28.2	18,891	27.9	△1,264	93.7
レディース類		10,583	14.8	10,396	15.4	△186	98.2
ポイント還元額		1,158	1.6	1,244	1.8	85	107.4
補正加工賃		1,727	2.4	1,690	2.5	△37	97.8
合計		71,480	100.0	67,663	100.0	△3,817	94.7

(注) 1. その他商品は、靴・肌着・雑貨等であります。

2. レディース類には、レディーススーツやレディースフォーマル、レディース洋品類、パンプス等が含まれておりません。

(2) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の店舗数 (2019年9月末現在)

(単位：店)

地域	洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ	ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	ホワイト ザ・スーツ カンパニー	合計
北海道	34	1	1			36
北海道地方計	34	1	1	0	0	36
青森県	9					9
岩手県	9					9
宮城県	13	1				14
秋田県	9					9
山形県	9					9
福島県	10					10
東北地方計	59	1	0	0	0	60
茨城県	18					18
栃木県	10					10
群馬県	14	1				15
埼玉県	45	3	1			49
千葉県	43	3	1			47
東京都	84	18	4	2	3	111
神奈川県	49	7	2		2	60
関東地方計	263	32	8	2	5	310
新潟県	16	1				17
富山県	7					7
石川県	9	1				10
福井県	5					5
山梨県	4					4
長野県	14					14
岐阜県	13					13
静岡県	26	1				27
愛知県	47	1				48
中部地方計	141	4	0	0	0	145

(単位：店)

地 域	洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ	ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	ホワイト ザ・スーツ カンパニー	合計
三重県	14					14
滋賀県	10	1				11
京都府	18	1				19
大阪府	46	6		2	3	57
兵庫県	37	3		1	1	42
奈良県	8					8
和歌山県	8					8
近畿地方計	141	11	0	3	4	159
鳥取県	3					3
島根県	5					5
岡山県	11	2				13
広島県	19	3				22
山口県	12					12
中国地方計	50	5	0	0	0	55
徳島県	5					5
香川県	7					7
愛媛県	9	1				10
高知県	5					5
四国地方計	26	1	0	0	0	27
福岡県	31	3			1	35
佐賀県	8					8
長崎県	7					7
熊本県	11	1				12
大分県	9					9
宮崎県	10					10
鹿児島県	12					12
沖縄県	7					7
九州地方計	95	4	0	0	1	100
合計	809	59	9	5	10	892

(注) 1. 「ザ・スーツカンパニー」には「TSC SPA OUTLET」を、「ユニバーサル ランゲージ」には「UL OUTLET」を含めております。

2. 店舗の出退店等の状況（当第2四半期まで（4月～9月））

	出店	閉店
洋服の青山	1	1
ザ・スーツカンパニー		1
ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	2	
計	3	2